

「親子の関わり方と子どもの発達について」

～保育業界で言われている子育てのあり方～
(子どもの成長を長い目で見るために)

小さな時

○ 『抱きしめる!』 (スキンシップが大切)・・・

* 脳内ネットワーク(シナプス)は、1歳前がピーク

(生後2ヶ月頃より急激にシナプスは増加し、8ヶ月頃にピーク、その後減り続けて10歳頃で安定)

・日本語に必要な“R”と“L”の違いや猿の顔が見分けられる赤ちゃん

・機能する汗腺の数(アフリカで生まれれば汗腺が発達したアフリカ人、ロシアで生まれれば寒さに強い子)

* 社会的参照(ソーシャル・レファレンシング)

生後6ヶ月頃～2歳頃:後ろを振り返った時に自分を大切に思っている人が見守ってくれているという安心感どうすればいいかを教えてくれる視線や表情→ガラスの谷の実験

・社会的ルールの遵守、非行や犯罪を予防する基盤(青少年の犯罪)

おしゃべりが出来るようになったら

○ 『聞く!』 (問い詰めない!→ブロック・ブロック!)

* 魔の二歳児!(テリブル2)・・・第一次反抗期?(イヤイヤ期) 本当は()

→自分でやろうという気持ちが芽生える時期

→保育園の先生たち「気分転換(落ち着かせる)、共感、代弁、整理、提案)

いよいよ心身共に大人になる準備が始まる時期(思春期)

○ 『見守る!』・・・

「第二次反抗期」って言うけれど・・・、「反抗期(イライラ期)」って実は()

→イヤイヤ期やイライラ期は、人類の進化の証

(あなたのお子さんはどちら?)

Aくん: 頑固で 落ち着きがなく 時々優柔不断で 泣き虫なくせに 自己主張が強い。

Bくん: 意志が強く 好奇心旺盛で 周りの人の意見をよく聞き 感受性が高く 自立している。

* 困ったときこそ「良いところ探し！」

→ハッピーノート)・・・日常の笑ったことや感動したことを簡潔に書いておく。

* 「がんばれ！」より「頑張っているね」。

* I(アイ)メッセージで親子関係を改善！→YOU(ユー)メッセージ

最後は

○ 『 祈る! 』 →『 』

* 子どもが大好きな言葉は？(褒められるよりも嬉しいようです)

* 子どもが幸せを感じる時って？(子どもが笑顔でいるときには・・・)

* 家庭の役割は()

* 子育ては()

～ 保育園でやっている実践例 ～

(ここからは、時間が許す限り下記の事項からリクエストで・・・)

○子どもの持っている特性を利用する

- ・まねしたがる
- ・挑戦(少し難しいことが大切)
- ・競争したがる
- ・認めて欲しい(がんばれ!とがんばっているね!)
- ・甘えたい(甘えさせてやる気を引き出す)

○見えない敵と戦う男の子と口から先に生まれる女の子(男の子らしく、女の子らしくは死語)

* 男の子の特性(勝負・プライド・こだわり)を利用する

- ・勝負事が大好き(勝った負けたで成長するのが男の子)
- ・プライド(男はちんけなプライドをたくさんもって生まれてくる?)
- ・男の子の会話
- ・純粋一途な男の子(お母さんは世界一・・・)
- ・男気スイッチ

* 女の子の特性(会話・共感・同調)を利用する

- ・女の子の会話
- ・共感と同調
- ・お母さんを一人の人間としてみる女の子→やがては同士に!

① 子どもと老人は、表情で感じ取る

② 褒める時には、芋ズル式に叱る時には、そのことだけ・・・

③ やる気のある子に育てるためには? (やる気格差が生まれている!)

- 幼児期の成功体験がカギ→ 三大神経伝達物質(ドーパミン・ノルアドレナリン・セロトニン)
- 成績が良い子(生活リズム・朝食・家族の会話)

③ 叱る時には、大声で叱るよりも目を見て小さな声でゆっくり叱る

④ 本当に叱る時には、本気で!

- ⑤ 敗した時は、本人が反省しているようならあえてとがめない(褒めてから叱る方が効果的)
→子どものためと言いながら、実は自分のストレスの発散
- ⑥ 片づける時やお出かけする時には、事前に知らせる(上手く切り替えさせるために)
- ⑦ 子どもに選ばせる(このおもちゃとあのおもちゃ、どちらが良い?)
- ⑧ 豚もおだてりゃ木に登る作戦
- ⑨ 褒め殺し作戦
- ⑩ リズムや歌、合い言葉でのせる!
- ⑪ あまのじゃく作戦(あまのじゃくには、他人を控え!)
- ⑫ 言い方を変える(寝ない子に…寝なくて良いから横になって…)
- ⑬ わらしべ長者作戦(スーパーなどで「このおもちゃが欲しい!」ってなったときに)
- ⑭ すーすーお昼寝作戦
- ⑮ わらしべ長者と三年寝たろう、なまはげ
- ⑯ 兄弟仲良く育てるためには?(兄弟は、お母さんと取り合うライバル!)
- ⑰ 子どもとの相性ってあるの?→あるんです!(でも、いつまでも続くわけではない!)
→我が子はみんな可愛いもの!でも、可愛く思えないことも…。それって母親失格?
- ⑱ 「せかす・脅かす・否定する」→出来れば使いたくない言葉
- ⑲ 「トイトレーニング」→早めに初めて焦らずに!
・トイトレーニングは、脳と体が整ってからと言うけれど…
→義務だと思わずに、子どもとの楽しい関わりのひとつ(小学生でおむつをしている子はいない)

- ⑳ 「しつけは、しつけ糸のように！」
・褒める子育てとか、叱らない子育てとか、自己肯定感を高める言葉掛けとか・・・
いったいどう叱ったらいいの？この叱り方って虐待？？
→躰は、着物を仕付けるから出来た言葉という説も・・・
→昔話や神様を使ったしつけ→㉟㊱へ
- ㉑ 「子どものウソ、どうする？」(子どもの嘘は、ファンタジー)
→ウソは成長の証(乳幼児期はファンタジーの世界に生きている！)
→世の中には、ステキなウソもある！(エピソード:サンタさんはいるの？)
- ㉒ ありがとう！は、「魔法の言葉！」
- ㉓ 褒める子育ての落とし穴(成果ばかり褒めていると・・・)
- ㉔ 叱らない子育ての落とし穴(叱らないのではなく、頭ごなしに叱らない・・・)
- ㉕ 叱るときに大切なこと(人格を否定しない子育てとは？)
・まめまきで心の鬼を追い払う→行為を叱っても・・・
- ㉖ 夫婦の意見が違くと子どもが混乱する？
→社会には、いろいろな価値観があることを教えるチャンス
- ㉗ 食べ物の好き嫌いをなくすには？→食べ物と関わる機会を増やすこと！
- ㉘ 推奨は、認める子育て(過程こそが大切！→頑張っているね！！)
- ㉙ あなたの子育ては、動物型？植物型？それとも育成栽培？
→しつけるのか？環境を整えるのか？それとも早期教育？
- ㉚ 親が見本になる？→回りの人を上手く使う。
- ㉛ 「トイレトレーニング」→早めに初めて焦らずに！
→トイレトレーニングは、脳と体が整ってからと言うけれど・・・

- ③③ 兄弟の育て方は、差別をしないこと？
- ③④ 兄弟別の育て方は？
- ③⑤ 食事中はテレビを見ない？（これから正義の話をしよう！）
- ③⑥ 自己肯定感を高めるためには？（他国とも比べて極端に自己肯定感が少ない日本）
→自己肯定感とは「自分は大切な人間だ」「自分は生きている価値がある」「自分は必要な人間だ」
という気持ち
→自尊心とは「自分の人格を大切にすること、自分を愛すること」
- ③⑦ スモールステップでジャンプ！（親の過大な期待が子どもの重荷に・・・）
→スモールステップの落とし穴 目標を低く設定するとそこで満足してしまう。
→目標は高く、その過程をスモールステップで単なる通過点にする
- ③⑧ 否定的な言葉や禁止言葉を減らす（廊下を走らない！→廊下は歩きましょう！）
→「ダメ！」なのではなく「そうするとどうなるのかを（一緒に）考える」
- ③⑨ 子どもには、「何をせよ！」ではなく「何かからするか？」と問う
→問うことで、子ども自身が自分で考え、自発的に考え行動するようになる。
- ④⑩ 「こうしろ！」よりも「～するには、どうしたらいいのか？」を尋ねる。
→指示待ち症候群にならないために
→子ども自身が考える機会を出来るだけ与える。子ども自身が計画することも必要。
- ④⑪ 「さっさとしなさい！」よりも「いつまでにしなさい！」の方が効果有り→メ切効果
→やらなければならないことを「見える化！」（学校の手紙を渡せない小学生のエピソード）
- ④⑫ 「あなたなら出来る！」というプラス暗示で本当に出来るようになる。
→ピグマリオン効果（教育心理学における心理的行動のひとつで、教師の期待によって生徒の成績が向上すること）
→ゴーレム効果（教師が期待しないことによって生徒の成績が下がること）

- ④③ 人生を後悔しない子に育てるには？（自分で選択出来る子は後悔しない！）
→小さな時から選択させる（頭ごなしに～しなさい！と言わない）
- ④④ 親が見本になる？→回りの人を上手く使う。
- ④⑤ 夫婦の意見が違くと子どもが混乱する？
→社会には、いろいろな価値観があることを教えるチャンス（エピソード：大脱走！）
- ④⑥ 子どもには怖い存在が必要？（お父さんが怖い存在だった頃→ナマハゲ・カッパ）
- ④⑦ 子育てに掛かる労力は、どの子も一緒！
- ④⑧ 保育業界の格言（抱きしめる・聞く・見守る・・・）
- ④⑨ 育児は育自！（エピソード：運動会）
→かけがえのない子どもたちと一緒に笑って一緒に泣いて、一緒に成長
- ⑤⑩ 社会が変われば子どもも変わる？（本質は変わらないが・・・）→ひねる・しゃがむ
- 51 オママゴトの変化（10年ほど前までは、一番人気がお母さん。今は・・・）
- 52 子どもの遊びの輪が小さくなっている（学校の先生によると・・・）
→大縄飛び・鬼ごっこ（クラスみんなでやっていた）
- 53 親の気持ちが伝わる！（エピソード：入園・大脱走！）
- 54 子どもには、怖い人が必要？（以前は怖かったお父さん。今は・・・）
→昔の子育てを見習おう！（ナマハゲ）
- 55 昔話を子育てに生かそう！（わらしべ長者と三年寝太郎）
・柳田国男（民族学者）
→昔の日本人は、子どもを叱る代わりに「だからそうなるんだよ」とみんなで笑った。
・大塚貝塚の発見で知られる博物学者エドワード・モースは、明治初期の日本を書き残している。
→「子どもたちは、大切に扱われ、その笑顔からして、彼らは、朝から晩まで幸福であるらしい」
→「子どもが笑っている社会は、幸せな社会」→笑顔は、回りの人に感染する。
- 56 三つ子の魂百まで（脳内ネットワークは、1歳前後がピーク！）
→LとRの違い、猿の顔の違いが分かる赤ちゃん。